

K  
A  
N  
G  
O  
A  
K  
I  
T  
A

# 看護あきた

Vol.163

令和7年度4号

令和7年度会員数

保健師	155名
助産師	284名
看護師	6,001名
准看護師	53名
合計	6,493名
(R8.2.13現在)	



今月の表紙：能代厚生医療センター外観

[CONTENTS]

- 1 シリーズ 施設自慢
- 2 ちょっと一息・安全情報
- 3 地区支部活動報告
- 4 3職能4委員会の活動報告
- 5 認定看護管理者教育課程
- 6 在宅医療従事者育成支援事業報告
- 7 秋田県ナースセンターニュース  
訪問看護総合支援センター事業のご紹介
- 8 役員等立候補者の公示・理事会だより
- 9 事務局からのお知らせ
- 10 編集後記



当院7階から見る日本海の夕日と白神山地

series  
施設自慢

能代厚生医療センター



## 看護部主導のベッドコントロール

能代厚生医療センター 副院長看護部長 鈴木 輝子

当院は、昭和8年2月能代市柳町に開設し数回の名称変更を経て、現在の秋田県厚生農業協同組合連合会・能代厚生医療センターとして病院運営をしています。平成元年には能代市落合に移転し、病床数 580 床（一般 470 床、結核 20 床、精神 60 床、感染 30 床）で開院しました。しかし、少子高齢化による人口減少の影響を受け、病棟削減・再編を繰り返し、現在は 378 床（一般 329 床、精神 45 床、感染 4 床）で運用しています。

能代山本地区では能代厚生医療センター、能代山本医師会病院、JCHO 秋田病院の 3 病院で二次救急医療の輪番制を取っています。当院の救急車受け入れ台数は令和 5 年度は 2,535 台、令和 6 年度は 2,509 台と、能代山本地区の 7 割以上の救急搬送患者を受け入れています。夜間入院も多く、同一診療科の入院が重なる場合も多々あります。ひとつの病棟に複数の入院が続くことで業務が煩雑化しスタッフの負担が増えることから、どの診療科の患者であってもあらゆる病棟で積極的に入院を受け入れることを推奨しています。

あらゆる診療科の入院を受け入れる体制を整えるにあたり、医師や看護師の意識改革と病床（ベッド）を効率的に運用・調整するためのベッドコントロールが重要になりました。ベッドコントロールの

権限を看護部に一任させて、看護部主導で医師や事務などの多職種と連携しました。その結果、患者をスムーズに入院させることができるようになりました。また、ベッドコントロールと同様に人員のコントロールも行っています。スタッフの急な休みや、夜間の急変、入院処置などが重なった場合、人員不足を補うための応援体制を取っています。

昨今では国内 7 割の病院で赤字経営となりましたが、幸いなことに当院では黒字を計上することができました。ベッドコントロールの効果的な運用とともに、スタッフの頑張りが表れた結果だと思えます。これからもスタッフ一同、地域の中核病院として地域住民の皆さまへ「安全・安心な看護と療養生活を提供する」ことを心がけ頑張っていきます。





このコーナーでは、協会会員の皆様の趣味や休日の過ごし方などを紹介しております。

### 秋田厚生医療センター 鈴木 恵美子

私は、登山を始めて5年になります。

同僚が登山をしており、一緒に連れて行ってもらったのがきっかけでした。

山の登りはとても辛く、最初は「なぜこんな大変なことをしているのだろう」と思ったものです。ところが、私はだんだん呼吸の仕方や歩き方が分かってくると、体も自然と楽になり、景色や花、虫、動物を見つける余裕が生まれて、登山が楽しくなってきました。

「山の沼にはまる」と言いますが、まさにその通りです。山の上で飲むコーヒーや食べるおにぎり、インスタントラーメンは格別で、あの雄大な景色を眺めていると下界のことを忘れ、ほっとするひとときを過ごせます。

山の素晴らしさ知っている私は、悩んでいる人がいたら、思わず登山に誘いたくなってしまいます。また、登山ツアーに参加することもあれば、友人と登ること、ソロ登山を楽しむこともあります。それぞれに違った登山の楽しみ方があり、とてもおもしろいです。ソロ登山をしている中では、兵庫県のナースの方と友達になるなど、たくさんの出会いにも恵まれました。

私は、これからもケガに注意しながら、登山を楽しんでいきたいと思います。



## 【医療・看護安全委員会】

## 安全情報

No.48

引用：公益財団法人 日本医療機能評価機構

# 電話呼び出し時の患者取り違え

### 職員が電話で検査・手術などへの患者の呼び出しを受けた際、患者を誤認した事例が報告されています。

**事例1**：病棟看護師は、耳鼻咽喉科外来から電話で患者Xの嚥下機能検査の呼び出しを受けた。病棟看護師は氏名を復唱せず、同姓の患者Yの呼び出しだと思い込み、患者Yを耳鼻咽喉科外来に案内した。耳鼻咽喉科外来では検査前に患者を確認せず、検査を行った。医師は、検査後に患者Yのネームバンドを読み込んで電子カルテに検査結果を登録した。翌日、患者Yの主治医が、オーダしていない検査の結果を見て不審に思い、確認したところ、誤って患者Yに不要な検査が実施されていたことがわかった。

**事例1のイメージ**

●●太郎さんに嚥下機能検査をしますので、耳鼻科外来をお願いします。

わかりました!

●●太郎さん 耳鼻科外来だな。

**患者確認の一例**

●●太郎さん、ID:xxxxの方に嚥下機能検査をしますので、耳鼻科外来をお願いします。

【メモに書いて読み上げる】 ●●太郎さん、ID:xxxxの方を、耳鼻科外来ですね。

【復唱された情報の確認】 はい、その通りです。

### 【取り組みのポイント】

- 患者を特定する際、氏名だけのやり取りは不確かであることを認識しましょう。稀に、氏名と生年月日が同じ場合もあるため、患者IDや住所など3種類以上の情報で患者を特定することを推奨します。
- 人間は聞きたいものだけを聞きたいように聞いています(期待聴取)。そのため、音声情報はエラーが起きやすく、医療機関において原則口頭指示が禁止となっています。電話を受けた職員は、相手が言った内容をメモに書いて読み上げ、電話をかけた職員は、復唱された情報が正しいか確認する必要があります。電話をかけた職員、受けた職員ともに、リードバック(復唱)とヒアバック(復唱された情報の確認)を実施しましょう。

# 地区支部 活動報告



## ハチ公北鹿 地区支部

### 地区支部活動について

大館市立総合病院

ハチ公北鹿地区支部 支部長 畠山 美嘉子

今年度から、鹿角・大館・北秋田の地区支部が統合し、「ハチ公北鹿地区支部」として活動しました。新たな役員体制で不慣れなところもありましたが、会員および関係機関の皆様のご協力により、まちの保健室、ふれあい看護体験、研修会など例年通りに行事を実施することができました。



今年度の研修会は、「これからどうなる？わたしたちの地域医療」と題し、北秋田市民病院 副院長 佐藤誠先生にご講演をいただきました。心不全パンデミック、災害医療など、地域医療の現状と今後について学びを深めました。「自分たちの地域の医療を守りたい」という先生の強い熱意に触れ、看護ができること、多職種との連携など、これからの課題と取り組みの重要性を考えるよい機会になりました。

地区支部統合のメリットを活かし、更に会員の交流を図り活動を進めてまいります。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



# 3 職能 4 委員会の活動報告

## 保健師職能委員会

委員長 熊澤 由美子

今年度は、保健師の資質の向上と組織強化・ネットワーク推進、保健師の専門性を活かした保健活動の推進を目標に、事業展開をしました。保健師職能集会の講演「保健師活動指針と現場をつなぐ～指針の真意を読み解いて地域課題の解決に向けよう～」では、保健師活動をロジックモデルで評価すると活動の見える化が図られ現場のエンパワメントにつながると伝わり、高い関心が寄せられました。新任期保健師の集いでは、コミュニケーションに関する講演の後、事例検討会を行いました。対象の望む姿や視点を大事にしながら、専門職としての見立ての深化と幅を広げる機会となった他に、情報交換を行う貴重な場となりました。



また、組織強化やネットワーク推進では、職能通信の発行、保健師団体連絡会を開催しました。各団体の抱える課題について共有し、協力可能な活動内容を模索しました。引き続きニーズや課題に沿った研修の企画を通して会員であることの意義を重ねて伝えていきたいと思えます。

## 助産師職能委員会

委員長 小林 育子

5月の「国際助産師の日記念事業」は「看護の日記念フェア」と同日にアルヴェで開催しました。7月には「子育て応援団」事業に看護協会ブースを設け、たくさんの親子とともに、鈴木秋田県知事や沼谷秋田市長も立ち寄ってくださいました。10月に助産師職能集会で秋田赤十字病院の産科部長佐藤朗医師から「助産師のための超音波-実践編」を実施し、県内各地から助産師10名以上が参加し実践的な研修を行い、「明日からやってみよう」など話す方もおりました。助産師の資質向上と専門性を活かした活動を推進することを目的とし、超少子化の秋田県で「生み」「育てる」が継続できる活動をしていきたいと思えます。



## 看護師職能委員会 I

委員長 石川 みゆき

令和7年度の集会（11月7日）は、チーム医療推進における業務改善と効率化に向けた取り組みとタスク・シフト/シェアの情報共有を目的に開催しました。

6医療機関の協力のもと、特定行為研修修了看護師の活用に加え、看護補助者との協働や看護DXを活用した業務負担軽減の取り組みが紹介されました。看護補助者との連携では、介護福祉士のSOAP記録を活用した情報共有の工夫も報告されました。AI問診や動画を用いた入院説明は、待ち時間短縮や業務効率化に成果をあげていました。



参加者からは、各施設の先進的な取り組みに刺激を受けたことや、チームの一員として安全で質の高い医療を提供する責任を改めて実感したとの意見が聞かれました。

今回の好事例を参考に、其々の施設に必要なタスク・シフト/シェアの推進につながる機会になればと思えます。

## 看護師職能委員会 II

委員長 安田 智代

在宅・介護施設領域の職能IIでは今年度「地域看護体験プログラム」を企画・実施し、病院看護師に看多機・特養・老健の看護の実際を体験してもらいました。11月の集会ではプログラム体験者4名と受け入れ施設看護師より、気づいたことや感想などを情報提供していただきました。27名の参加者は、グループワークでざくばらんに「地域看護の連携に必要なこと」を意見交換し、お互いの立場を理解する機会となりました。「施設看護について知らないことが多く、退院支援にも役立つ」等とプラスの言葉が聞かれました。次年度はプログラムの体験者・受け入れ施設（訪問看護事業所を追加）を公募し体験していただき、集会を通して地域看護の連携強化に努めていく予定です。ご参加をお待ちしております。



# 令和7年度 認定看護管理者教育課程

## ファーストレベル

**教育目的** 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

**実施内容** 1. 研修期間：5月26日(月)～7月31日(木) 全108時間  
2. 修了者：57名

### 受講者代表のご挨拶（一部抜粋）

講義や演習を通して多くの学びの機会を提供くださった先生方、そしてこの研修を支えてくださった看護協会の皆様、快く研修に送り出してくれた自施設看護部や自部署のスタッフに、心よりお礼申し上げます。そして、ともに学んだ受講生の皆さまとの出会いに感謝いたします。日々の業務と並行しての受講は決して容易ではありませんでした。しかし、この研修で得られた現場の視点や管理者としての思考の枠組み、そして共に学んだ仲間とのつながりは、私たちに大きな気づきと学びをもたらしてくれました。

研修に参加することで、私が看護の道を志した理由の一つである「一生成長し続けられることのできる職業」という原点を改めて思い出しました。振り返れば、看護管理の難しさを感じながらも、自ら学ぶ機会をつくろうとせず、結果として自分自身の成長を狭めていたことに気づきました。学びから距離を置いていた私にとって、自分自身の看護観や管理観、そして自分自身と向き合う時間は、決して楽なものではありませんでしたが、研修を通して再び「学ぶことは楽しい」と思えるようになりました。

私にとっての大きな気づきと学びは、1つ目は「自部署の強み」に目を向ける大切さ、2つ目は「組織化することの重要性」、3つ目は「物事を俯瞰してみる、多角的視点を持つ」ことです。今後はこの三つを私の看護管理の糧とし、スタッフと共に「看護ってすごいよね。」と看護の無限の力につなげていくことが役割と考えます。「諦めないことを諦めない」精神で、自分や部署が成長し続け、より良い看護サービスの提供と組織の発展につなげていきたいと思えます。

●今年度は県内各地域（県北部8名、中央部35名、県南部18名）から看護管理に関心のある61名が集い、開講しました。本教育課程を受講された皆様のご活躍を心から願っております。



## セカンドレベル

**教育目的** 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

**実施内容** 1. 研修期間：9月3日(水)～11月28日(金) 全182時間  
2. 修了者：33名

### 受講生の声

●セカンドレベルを受講し、悩みながら考え続ける学びの時間を通じて、自分を見つけ直す機会となり改めて「対話」を大切にしたいという自分自身の想いを再認識しました。今回の学びを通じて職業人として、そして管理に関わる立場として、「対話」を大切にできる姿勢の重要性を実感しました。今回のセカンドレベルの受講が「大変だった」という気持ちだけに終わらず、「学ぶことが楽しい」と感じられる経験になったことが、本当にうれしく思います。特に同じ立場で悩み、考え、支え合いながら学んだ仲間の存在があったからこそ、学びの時間を前向きにと絶えることができたと感じています。

●セカンドレベルの学びを通じて、私は自身の看護観を改めて言語化することができました。私たちは、患者の「これまでの人生」と「これから続く、あるいは終わりを迎える人生」の中に存在しています。その中で常に向き合うべき問いは、「この患者にとって今、何か最善か」であり、それを考え、学び、実践し続けることが看護職の使命であることを再認識することができました。

●研修で得た学びを実践へ活かす段階にたった今、楽しみ以上に不安を感じています。研修を通じて、自身の知識不足を痛感する場面も多くなりました。この不安こそが学び続ける原動力になると捉え、実践の中で成長していきたいと思えます。そして他施設の受講生との交流は、何よりの財産となりました。一人では気づけなかった視点を獲得ことができ、前へ進む勇気につながりました。こうして得た一つひとつの学びを積み重ね、スタッフと共に患者と家族が「安心して暮らしへつながる看護」を創り続けていきたいと思えます。



●本教育課程は令和8年度で終了になります。受講に関するご相談やお問い合わせは、随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください（連絡先：018-831-8020）。

# 令和7年度 在宅医療従事者育成支援事業報告

## ◆ 退院支援看護師養成研修

- 開催日：9月4日(木)、5日(金)、10月28日(火) 全3.5日間
- 修了者：35名
- 修了者の声：
  - ◆受け持ちナースを中心に「退院支援スクリーニングシート」を活用し、スタッフ間で情報共有したい。
  - ◆講義とグループワークで退院支援看護師の役割が理解できた。

## ◆ 准看護師のためのスキルアップ研修

- 開催日：8月6日(火)
- 受講者：11名
- 受講者の声：
  - ◆准看だから…とかでないように、日頃から知識を深めていきたいと思う。
  - ◆今後もこのように振り返ることができる研修を希望します。

## ◆ 感染対策リーダー看護師育成研修

- 開催日：6月10日(火)、16日(月)、7月1日(火) 全3日間
- 修了者：36名
- 修了者の声：
  - ◆グループワークで意見をいただき研修会や視覚的に手指衛生を意識づける方法を施設で活用できる。
  - ◆なぜ感染対策が必要なのかを施設に帰って説明できるような内容だった。

## ◆ 介護福祉施設等研修講師派遣事業

- 開催日：9月1日(月)～12月5日(金)
- 修了者：26施設
- 研修分野：感染管理、認知症看護、皮膚・排泄ケア、摂食・嚥下障害看護、慢性心不全看護、脳卒中リハビリテーション看護、訪問看護
- 参加施設からの声：
  - ◆直接対面での打ち合わせもしやすい地域の認定看護師であったため大変助かりました。
  - ◆日中時間が取れないため、昼休み時間を利用しました。日勤全員の参加の他、休日、夜勤のスタッフも何人が参加し、皆にとってとても興味深い研修になった。質問も多く、講師の方も丁寧に対応していただいた。
- 認定看護師の講師からの声：
  - ◆講義の学びから、事例に対しての質問があり、活発な意見交換ができた。講義や受講者の質問内容から事例検討、演習スタイルでの研修も必要ではないかと感じた。今後の検討事項にしたい。
  - ◆講義後の質問では、普段の看護やリハビリの場面へ活かしたい具体的な行動レベルでの内容が聞かれた。摂食嚥下障害に高い関心を寄せ利用者へ還元したいという参加者の意識が伝わった。急性期病院と在宅医療（施設）との連携が必要性と考える情報等の情報交換できた。

## ◆ 地域包括ケア推進看護職ネットワーク事業（県北地区）

- 開催日：10月4日(土)
- 受講者：18名
- 受講者の声：
  - ◆家族の意向が、強く反映されることが多いという共通認識であった。
  - ◆ACPの研修は、繰り返し受けることで考える力が養えると思う。
  - ◆他の施設の情報を知る機会となり、刺激を受けた、励みになった。

## 秋田県 ナースセンターニュース

秋田県ナースセンターは、看護職の人材確保を目指して、就労促進、復職支援等を行っています。

# ナースセンターは再就業を目指すあなたのサポーターです！

様々な相談に対応します。また、令和8年度の復職支援研修も多数企画しております。実技研修や交流会等、皆さんの背中を押してあげたいと思いますよ。詳細は秋田県看護協会HP→ナースセンターからご確認ください。

お問合せ TEL :018-832-8810



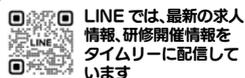
### 看護師って？ 看護補助者って？

- ・ふれあい看護体験
- ・お仕事相談
- ・看護補助者向け研修



### 働いていない 働くことができない…

- ・将来に向けて再就業支援事業の交流会や研修会

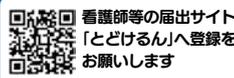


LINEでは、最新の求人情報、研修開催情報をタイムリーに配信しています



### 働きたいが不安がある 迷っている

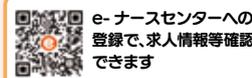
- ・復職支援実技研修
- ・交流会
- ・復職支援研修e-ラーニング
- ・採血実技演習



看護師等の届出サイト「とどけるん」へ登録をお願いします

### 働きたい

- ・お仕事探し（求人情報）
- ・就業マッチング研修
- ・復職支援研修e-ラーニング
- ・採血実技演習



e-ナースセンターへの登録で、求人情報等確認できます

## 令和8年度 訪問看護総合支援センター事業のご紹介

### 訪問看護事業所の運営支援

- 訪問看護事業所・看多機交流会  
→2026年度より定期開催(2回/年)
- 事業所・関係機関からの相談へ対応

### 訪問看護管理者研修

R 8年度診療報酬改定に対応します！  
「訪問看護ステーションの運営や請求を学ぼう」  
講師：一般社団法人 全国訪問看護事業協会  
吉原 由美子氏

### 訪問看護に従事する人材確保

- 看護師養成機関・教育機関等へ訪問し学生へ向けた訪問看護のアピール
- ナースセンターと協働し、訪問看護領域求職者へのマッチング支援

- 訪問看護師養成講習会  
訪問看護に必要な最新の知識・技術の習得
- 訪問看護インターンシップ研修  
潜在看護師、キャリアチェンジ、看護学生等による訪問看護の体験
- 訪問看護・医療機関相互研修  
訪問看護事業所⇄医療機関相互の連携によりそれぞれの役割や使命、トピックスを学ぶ

### 訪問看護の質向上

- 訪問看護実践力向上研修  
認定看護師による予防的皮膚ケアと創傷対応について学びます  
(県北・中央・県南で開催)
- キャリア支援研修  
「発達特性を理解し支える小児訪問看護」  
発達障害の特性を学びましょう
- 訪問看護e-ラーニングの受講体制整備

この他、詳しい事業内容等はホームページをご覧ください。また、研修に関しては、3月中に配布されます研修一覧をご参照ください。

## 令和8年度 改選役員及び推薦委員の立候補者の公示

### 1. 理事・監事候補者

(1) 任期満了に伴う改選に係る候補者（任期－理事2年、監事4年 所属－令和8年3月4日現在）

役職名	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴	摘要
理事	日沼 ゆかり	助産師	秋田看護福祉大学	現理事（副会長）	推薦委員会推薦
理事	成田 睦子	看護師	秋田県看護協会	現理事（常務理事）	推薦委員会推薦
理事	東 美奈子	看護師	JCHO秋田病院附属介護老人保健施設	元地区支部役員	推薦委員会推薦
理事	石川 みゆき	看護師	本荘第一病院	現看護師職能Ⅰ理事	推薦委員会推薦
理事	中村 美央	看護師	秋田大学医学部附属病院	元地区支部役員	推薦委員会推薦
理事	柴 由美	看護師	由利組合総合病院	－	推薦委員会推薦
理事	高山 純子	看護師	市立角館総合病院	現地区副支部長	推薦委員会推薦
理事	赤川 恵理子	看護師	市立横手病院	元地区副支部長	推薦委員会推薦
理事	桃井 多恵子	准看護師	本荘第一病院	現准看護師理事	推薦委員会推薦
外部理事	佐々木 憲一	－	秋田赤十字病院	－	推薦委員会推薦
監事	豊嶋 直美	看護師	リンデンバウムいずみ	元看護師職能Ⅱ理事	推薦委員会推薦

### 2. 推薦委員会委員候補者

任期満了に伴う改選に係る候補者（任期－2年、所属－令和8年3月4日現在）

氏名	職種	地区	所属施設名	協会活動歴	摘要
畠山 光世	看護師	中央	由利本荘医師会病院	元地区支部長	推薦委員会推薦
内藤 真奈美	看護師	県南	平鹿総合病院	元地区副支部長	推薦委員会推薦
松坂 綾子	看護師	県北	能代厚生医療センター	元地区支部役員	推薦委員会推薦

## 令和9年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の立候補者の公示

### 1. 代議員候補者（推薦委員会推薦）

（任期－令和9年度1年間、所属－令和8年3月4日現在）

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	熊澤 由美子	保健師	在宅	現理事（保健師職能委員会委員長）
2	助産師職能	富樫 昭子	助産師	秋田赤十字病院	元助産師職能委員会委員
3	看護師職能Ⅰ	石川 みゆき	看護師	本荘第一病院	現理事（看護師職能委員会Ⅰ委員長）
4	看護師職能Ⅱ	安田 智代	看護師	介護老人保健施設あいぜん苑	現理事（看護師職能委員会Ⅱ委員長）
5	看護師職能（准看）	桃井 多恵子	准看護師	本荘第一病院	現理事（准看護師）
6	副会長	阿部 栄子	保健師	仙北市役所	現副会長
7	能代・山本地区	東 美奈子	看護師	JCHO秋田病院附属介護老人保健施設	元地区支部役員

### 2. 予備代議員候補者（推薦委員会推薦）

（任期－令和9年度1年間、所属－令和8年3月4日現在）

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	大須賀 まみ	保健師	秋田県総務部人事課	現保健師職能委員会委員
2	助産師職能	大澤 美奈子	助産師	大館市立総合病院	現助産師職能委員会委員
3	看護師職能Ⅰ	堀江 敬子	看護師	秋田赤十字病院	現看護師職能委員会Ⅰ委員
4	看護師職能Ⅱ	佐藤 妙子	看護師	虹の街訪問看護ステーションいずみ	現看護師職能委員会Ⅱ委員
5	看護師職能（准看）	佐々木 真由美	准看護師	本荘第一病院	－
6	常務理事	成田 睦子	看護師	秋田県看護協会	現常務理事
7	常務理事	宮野 はるみ	助産師	秋田県看護協会	現常務理事

## 理事会だより

### 第5回 令和8年1月21日(水)

#### 1 議 事

- 1) 令和8年度秋田県看護協会重点事項(案) …… [承認]
- 2) 令和8年度秋田県看護協会事業計画(案) …… [承認]
- 3) 令和8年度秋田県看護協会通常総会議案及びプログラム(案) …… [承認]
- 4) 令和8年度秋田県看護協会会長表彰受賞者(案) …… [承認]
- 5) 諸規定の一部改正(案) …… [承認]
- 6) 令和7年度会長表彰受賞者(優秀学生賞)(案) …… [承認]
- 7) あきた芸術村わらび劇場への協賛(案) …… [承認]
- 8) 秋田県看護協会事業継続計画(BCP)(案) …… [承認]

#### 2 協 議

- 1) 日本看護協会への要望
- 2) 会費等の改正

#### 3 報 告

- 1) 日本看護協会理事会報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 会長(代表理事)、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行報告
- 4) 会計報告
- 5) 令和8年度日本看護協会会長表彰候補者
- 6) 令和8年度秋田県看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦、令和9年度日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
- 7) 役員の旅費規程に係る鉄道運賃の支給について

Check!!

令和8年度より教育計画冊子を廃止し、**教育計画一覧のみ**となります。  
是非、ご活用ください。また、研修情報は随時更新しておりますので、秋田県  
看護協会ホームページ等をご確認ください。

令和8年  
**6月17日(水)**  
12:20～15:45

## 秋田県看護協会通常総会

会 場 | 秋田県総合保健センター2階 大会議室  
対 象 | 秋田県看護協会会員

## 令和8年度 認定看護管理者教育課程

### ファーストレベル

開催期間 | 令和8年5月25日(月)～7月31日(金)  
申込期日 | 令和8年4月10日(金)必着  
定 員 | 60名

### セカンドレベル

開催期間 | 令和8年8月31日(月)～11月24日(火)  
申込期日 | 令和8年5月22日(金)必着  
定 員 | 30名

### カリキュラム 改訂のお知らせ

日本看護協会では看護職全体のマネジメントの質向上を目指し、認定看護管理者教育を見直し、「看護管理研修」及び「新たな認定看護管理者教育」に整理しました。「看護管理研修(全16研修)」は令和9年度から順次、実施されます。  
当協会が現行カリキュラムで開講するファーストレベル・セカンドレベルは令和8年度で終了となります。また、令和8年度は日本看護協会「看護管理研修(8研修)」を先行実施しております。

第53回

## 秋田県看護学会 演題募集

演題受付期間

2026年4月27日(月)～5月11日(月)

対 象

秋田県看護協会会員  
(令和8年度入会手続きを済ませた者)

令和8年度より「研究報告」の他に「実践報告」の募集も行います。  
秋田県看護協会ホームページ「演題募集」を参照の上、ご応募ください。  
(<https://www.akita-kango.or.jp/training/page-84/page-79/>)



# 看護の日フェア

日 時 | 令和8年5月16日(土) 10:00~12:15  
 場 所 | 秋田拠点センターアルヴェ  
 内 容 | まちの保健室、就職相談、看護学校・養成所の紹介など



## 会員の皆さまへのお願い

### よりよい研修づくりのためのニーズ調査 ご協力をお願い

いつも教育研修事業をご活用いただき、ありがとうございます。  
 県内看護職に今後もよりよい教育研修事業を提供するために、会員の皆様にアンケートを実施することにいたしました。ご多用のところ恐縮ですが、ぜひともご協力ください。よろしくお願いいたします。

右記のQRコードを読み取って、「秋田県看護協会の教育研修事業に関するニーズ調査」フォームからご回答ください。



所要時間 3~5分程度 内 容 1) 研修に関すること  
 2) 研修申し込み等に関すること

調査ご協力期間 2026年3月10日~4月10日まで



おねがいします

編集後記

寒さも少しずつ和らぎ桜の花が待ち遠しく感じるこの頃、今年度も予定通り年4回「看護あきた」の発行を終えることができました。ご協力頂いた皆様には深く感謝いたします。今後とも医療現場のニーズをいち早くキャッチし情報を皆様に提供できるように広報委員一同頑張っていくと思います。これからもご支援宜しくお願いします。 記：広報委員 鎌田 泰明

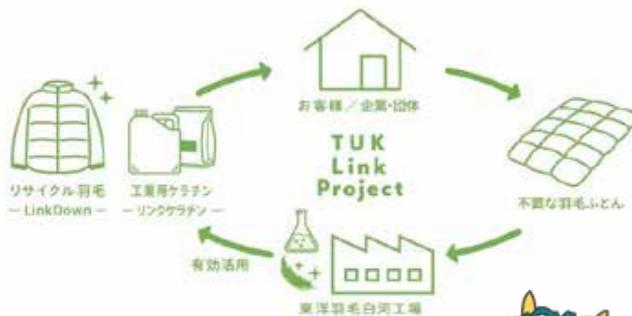
## 不要な羽毛ふとんは ありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は羽毛ふとん(ダウン率50%以上)です。ただし、東洋羽毛の羽根ふとん、羽根まくら(ダウン率50%未満)は引取り可能です。羽毛以外のふとん種やリサイクル羽毛として活用できない物は引取りできません。



引取り詳細



東洋羽毛北部販売株式会社  
 〒010-0951 秋田県秋田市山王6-9-25山王SEビル・5F

秋田営業所

☎0120-639-60

